

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 6 年 7 月 8 日(2024.7.8)

【公開番号】特開 2024-71670(P2024-71670A)
【公開日】令和 6 年 5 月 24 日(2024.5.24)
【年通号数】公開公報(特許)2024-095
【出願番号】特願 2024-54701(P2024-54701)
【国際特許分類】
A 6 3 F 7/02(2006.01)
【F I】
A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

10

【手続補正書】
【提出日】令和 6 年 6 月 28 日(2024.6.28)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

20

判別を実行可能な判別手段と、
その判別手段による判別結果を示すための識別情報を表示可能な表示手段と、
その表示手段に表示される前記識別情報を動的表示させることが可能な動的表示手段と、
その動的表示手段により動的表示される前記識別情報の動的表示態様を決定することが可能な動的表示態様決定手段と、
前記表示手段に特定の判別結果を示すための前記識別情報が表示された場合に、遊技者に有利となる特典を付与することが可能な特典付与手段と、を有した遊技機において、
第 1 状態と、その第 1 状態とは異なる第 2 状態と、に変位可能な操作手段と、
作動演出を実行可能な作動演出実行手段と、を有し、
前記第 2 状態に変位された前記操作手段は、操作されていないことに対応して前記第 1 状態へと変位可能に構成されており、
前記遊技機は、少なくとも前記操作手段の操作が有効と判別されない特定期間に前記操作手段が前記第 1 状態である状況下で所定事象が発生し、その所定事象が発生した後の所定のタイミングで前記操作手段が前記第 1 状態である場合には、前記作動演出として前記操作手段が前記第 1 状態であることに対応する第 1 作動態様の第 1 演出が実行可能に構成され、
前記特定期間に前記操作手段が前記第 2 状態から前記第 1 状態の方向へと変位しようとする動作を妨げられている状況下で前記所定事象が発生し、その所定事象が発生した後の所定のタイミングで前記操作手段が前記第 2 状態から前記第 1 状態の方向へと変位しようとする動作を妨げられている場合には、前記作動演出として前記第 1 作動態様とは異なる第 2 作動態様の第 2 演出が実行可能に構成され、
前記操作手段が前記第 2 状態から前記第 1 状態の方向へと変位しようとする動作を妨げられている状況下で前記所定事象が発生した場合であっても、前記所定のタイミングにおいて前記操作手段が前記第 1 状態である場合には、前記第 1 演出が実行されるように構成され、
所定の入球手段に遊技球が入球したことに基づいて前記作動演出とは異なる特定表示態様を表示可能な特定表示態様表示手段を有し、
前記作動演出が実行されている期間に前記入球手段に遊技球が入球した場合には、前記作

30

40

50

動演出が終了するまで前記特定表示態様が表示されないように構成されており、
前記作動演出が実行されている期間の内の所定期間に入球したことに基づく前記特定表示
態様を前記作動演出の終了後に表示可能に構成されており、
前記所定のタイミングにおいて前記操作手段が前記第 2 状態から前記第 1 状態の方向へと
変位しようとする動作を妨げられており、その所定のタイミングとなってから前記第 2 演
出が実行されるまでの期間に前記操作手段が前記第 2 状態から前記第 1 状態の方向へと変
位しようとする動作を妨げられている状況が解消された場合であっても、前記第 2 演出は
実行されるように構成されており、
前記第 1 演出の実行期間には、前記第 2 作動態様の態様が実行されないように構成されて
いることを特徴とする遊技機。

10

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 2】

従来より、パチンコ機などの遊技機では、遊技盤面上に設けられた始動口に遊技球が入球
すると、遊技の当否が抽選され、その抽選結果が当たりであった場合に、遊技者に有利と
なる特典遊技が実行されるものが提案されていた。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 3】

【特許文献 1】特開 2 0 1 3 - 0 9 0 7 8 0 号公報

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 4】

このような遊技機において、遊技の興趣向上が求められている。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

本発明は、上記例示した問題点等を解決するためになされたものであり、遊技の興趣を
向上することができる遊技機を提供することを目的とする。

40

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

この目的を達成するために本発明の遊技機は、判別を実行可能な判別手段と、その判別
手段による判別結果を示すための識別情報を表示可能な表示手段と、その表示手段に表示
される前記識別情報を動的表示させることが可能な動的表示手段と、その動的表示手段に

50

より動的表示される前記識別情報の動的表示態様を決定することが可能な動的表示態様決定手段と、前記表示手段に特定の前記判別結果を示すための前記識別情報が表示された場合に、遊技者に有利となる特典を付与することが可能な特典付与手段と、を有し、第1状態と、その第1状態とは異なる第2状態と、に変位可能な操作手段と、作動演出を実行可能な作動演出実行手段と、を有し、前記第2状態に変位された前記操作手段は、操作されていないことに対応して前記第1状態へと変位可能に構成されており、前記遊技機は、少なくとも前記操作手段の操作が有効と判別されない特定期間に前記操作手段が前記第1状態である状況下で所定事象が発生し、その所定事象が発生した後の所定のタイミングで前記操作手段が前記第1状態である場合には、前記作動演出として前記操作手段が前記第1状態であることに対応する第1作動態様の第1演出が実行可能に構成され、前記特定期間に前記操作手段が前記第2状態から前記第1状態の方向へと変位しようとする動作を妨げられている状況下で前記所定事象が発生し、その所定事象が発生した後の所定のタイミングで前記操作手段が前記第2状態から前記第1状態の方向へと変位しようとする動作を妨げられている場合には、前記作動演出として前記第1作動態様とは異なる第2作動態様の第2演出が実行可能に構成され、前記操作手段が前記第2状態から前記第1状態の方向へと変位しようとする動作を妨げられている状況下で前記所定事象が発生した場合であっても、前記所定のタイミングにおいて前記操作手段が前記第1状態である場合には、前記第1演出が実行されるように構成され、所定の入球手段に遊技球が入球したことに基づいて前記作動演出とは異なる特定表示態様を表示可能な特定表示態様表示手段を有し、前記作動演出が実行されている期間に前記入球手段に遊技球が入球した場合には、前記作動演出が終了するまで前記特定表示態様が表示されないように構成されており、前記作動演出が実行されている期間の内の所定期間に入球したことに基づく前記特定表示態様を前記作動演出の終了後に表示可能に構成されており、前記所定のタイミングにおいて前記操作手段が前記第2状態から前記第1状態の方向へと変位しようとする動作を妨げられており、その所定のタイミングとなってから前記第2演出が実行されるまでの期間に前記操作手段が前記第2状態から前記第1状態の方向へと変位しようとする動作を妨げられている状況が解消された場合であっても、前記第2演出は実行されるように構成されており、前記第1演出の実行期間には、前記第2作動態様の態様が実行されないように構成されている。

10

20

30

40

50

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明の遊技機によれば、判別を実行可能な判別手段と、その判別手段による判別結果を示すための識別情報を表示可能な表示手段と、その表示手段に表示される前記識別情報を動的表示させることが可能な動的表示手段と、その動的表示手段により動的表示される前記識別情報の動的表示態様を決定することが可能な動的表示態様決定手段と、前記表示手段に特定の前記判別結果を示すための前記識別情報が表示された場合に、遊技者に有利となる特典を付与することが可能な特典付与手段と、を有し、第1状態と、その第1状態

とは異なる第2状態と、に変位可能な操作手段と、作動演出を実行可能な作動演出実行手段と、を有し、前記第2状態に変位された前記操作手段は、操作されていないことに対応して前記第1状態へと変位可能に構成されており、前記遊技機は、少なくとも前記操作手段の操作が有効と判別されない特定期間に前記操作手段が前記第1状態である状況下で所定事象が発生し、その所定事象が発生した後の所定のタイミングで前記操作手段が前記第1状態である場合には、前記作動演出として前記操作手段が前記第1状態であることに対応する第1作動態様の第1演出が実行可能に構成され、前記特定期間に前記操作手段が前記第2状態から前記第1状態の方向へと変位しようとする動作を妨げられている状況下で前記所定事象が発生し、その所定事象が発生した後の所定のタイミングで前記操作手段が前記第2状態から前記第1状態の方向へと変位しようとする動作を妨げられている場合には、前記作動演出として前記第1作動態様とは異なる第2作動態様の第2演出が実行可能に構成され、前記操作手段が前記第2状態から前記第1状態の方向へと変位しようとする動作を妨げられている状況下で前記所定事象が発生した場合であっても、前記所定のタイミングにおいて前記操作手段が前記第1状態である場合には、前記第1演出が実行されるように構成され、所定の入球手段に遊技球が入球したことに基づいて前記作動演出とは異なる特定表示態様を表示可能な特定表示態様表示手段を有し、前記作動演出が実行されている期間に前記入球手段に遊技球が入球した場合には、前記作動演出が終了するまで前記特定表示態様が表示されないように構成されており、前記作動演出が実行されている期間の内の所定期間に入球したことに基づく前記特定表示態様を前記作動演出の終了後に表示可能に構成されており、前記所定のタイミングにおいて前記操作手段が前記第2状態から前記第1状態の方向へと変位しようとする動作を妨げられており、その所定のタイミングとなってから前記第2演出が実行されるまでの期間に前記操作手段が前記第2状態から前記第1状態の方向へと変位しようとする動作を妨げられている状況が解消された場合であっても、前記第2演出は実行されるように構成されており、前記第1演出の実行期間には、前記第2作動態様の態様が実行されないように構成されている。

10

20

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

30

【0010】

よって、遊技の興趣を向上することができるという効果がある。

【手続補正11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】

40

【手続補正13】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正14】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

50

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 15】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】7 5 5 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【7 5 5 1】

1 0	パチンコ機（遊技機）	
<u>1 1 4</u>	<u>表示制御装置（動的表示手段の一部）</u>	10
<u>8 1</u>	<u>第3図柄表示装置（表示手段）</u>	
<u>1 0 3 4 0</u>	<u>レバー部材（操作手段）</u>	
<u>S 3 0 9</u>	<u>判別手段</u>	
<u>S 3 1 2 , S 3 1 7</u>	<u>動的表示態様決定手段の一部</u>	
<u>S 1 0 0 4</u>	<u>特典付与手段の一部</u>	
<u>S 3 2 5 1</u>	<u>作動演出実行手段</u>	
<u>S 5 1 0 4</u>	<u>特定表示態様表示手段</u>	

20

30

40

50